

名古屋市新たな劇場の基本構想（素案）の主な修正箇所

	区 分	頁（更新版）	旧 2020年（令和2年11月）	新 2021年（令和3年）6月
0	基本構想全体			全体ナンバリングの調整、統一
1	<u>1 市民会館の現状と課題</u> （2）現市民会館の概要 ウ 利用状況 （イ）利用ジャンル・利用団体	P8～P10		利用ジャンルと利用規模のクロス集計・分析結果（平成28・29年度の累計）を追記
2	<u>1 市民会館の現状と課題</u> （4）整備候補地の検討	P13		候補地に求められる立地条件や検討内容を追記した上で、金山での建て替えの方針を明記
3	<u>3 劇場を取り巻く情勢</u> （2）本市の上位・関連計画の整理 イ 名古屋市文化芸術推進計画2025（案）	P27～30	「名古屋市文化振興計画2020」の内容を記載	「 名古屋市文化芸術推進計画2025（案） 」に更新
4	<u>4 新たな劇場の方向性</u> （1）現状の課題点と本市が目指す方向性	P35	現状の課題として、以下4項目を記載 ----- ○現市民会館の構造的不足 ○大・中規模ホール不足が文化芸術にもたらす様々な弊害 ○施設運営上の弊害 ○市民の思い	現状の課題に関する記載を以下3項目に再編 ----- ア 市民の思い イ 管理運営 ウ 施設 また、「文化振興の考え方」については再掲のため削除

5	<u>6 管理運営の考え方</u> (1) ポストコロナにおける劇場の考え方	P39		ポストコロナにおける劇場の考え方を追記
6	<u>6 管理運営の考え方</u> (3) 貸館事業の考え方 イ 今後の検討事項	P43	貸館事業に関する今後の検討方針を以下の通り記載 ----- a)～c) 省略 d)市内施設の連携体制について ・市内施設一体的な条例のあり方 ・市内県有施設との相乗効果を生み出す運用 e)ポストコロナ時代を見据えた新たな運営方法	貸館事業に関する今後の検討方針を以下の通り修正 ----- (ア)～(ウ) 省略 (エ) サービス向上のための設備整備について ・ 今後のデジタル化に対応できる施設整備の考え方、方向性 (オ) 市内施設の連携体制について ・ 市内施設一体的な条例のあり方 ・ 市内県有施設との相乗効果を生み出す運用 等
7	<u>6 管理運営の考え方</u> (4) 運営組織の考え方 エ 今後の検討事項	P47		「 (エ) 施設運営費の想定とそれに対する行政負担の考え方の整理 」を追記
8	<u>7 施設の考え方</u> (1) 施設整備の基本的な考え方 オ 劇場不足解消に向けた新ホールの増設	P50		「 オ 劇場不足解消に向けた新ホールの増設 」について追記し、以下の通り説明文を記載 ----- 大・中規模ホール不足が文化芸術にもたらす様々な弊害の解消に向けて、ポストコロナ時代を見据えた機能を備える新ホールを増設し、新たな魅力の創出を目指します。 望ましい姿 ・劇場不足を解消し、これまでになかった利用方法が可能な新たなホールの増設

9	<u>7 施設の考え方</u> (1) 施設整備の基本的な考え方 カ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた劇場施設	P50		「カ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた劇場施設」について追記し、以下の通り説明文・図を記載 ----- 新型コロナウイルス感染症が社会に与えた影響は幅広く、劇場施設のあり方にも一石を投じています。従来からの劇場の魅力を維持しつつ、既存の概念に囚われない新たな考え方の導入を検討します。 望ましい姿 ・ストーリーミング配信対応等のリアルの場に留まらない多様な鑑賞体験を提供でき、将来のデジタル技術革新にも対応できる拡張性を持つ劇場 ・非接触、抗ウイルス（光触媒等）素材・加工の使用、殺菌設備（UV）を完備し、ソーシャルディスタンス確保に対応した劇場
10	<u>7 施設の考え方</u> (2) 新たな劇場の需要及び課題 ウ 第3ホール（新規増設のホール）	P51		現市民会館中ホールの利用実態の中で最も多い座席数が「600～900席」であることを追記 また、多目的としながらも「演劇・軽音楽」の利用に比重を置いた機能を充実させる方向性の記載を追記
11	<u>7 施設の考え方</u> (4) 敷地環境	P59		基本情報の表記を修正
12	<u>7 施設の考え方</u> (5) 敷地における整備方針	P60		整備方針の図の記載を修正
13	<u>8 整備事業概要の検討</u> (3) 事業手法	P62		説明文を追記した上で、＜検討の視点（例）
14	<u>9 スケジュール（案）</u>	P63		スケジュールの追加